

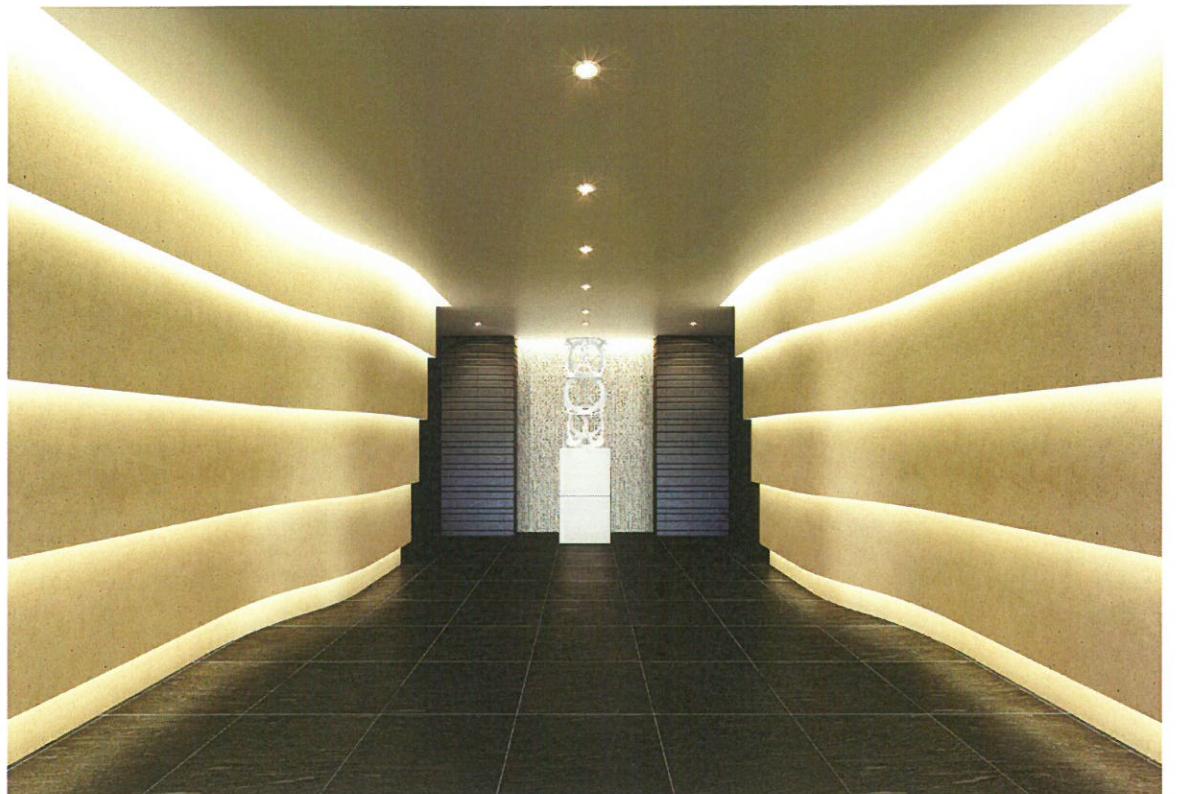
【AAC 2018】応募用紙A

作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

床置き 台座置き 壁付

作品設置イメージ・制作方法

展示イメージ



制作手順

電動ろくろにより同じサイズの輪の形をした磁器を制作し、それを組み合わせることで彫刻作品を作る。

ジャグリングで使用される直径 405mm のリングと全く同サイズで制作し、ジャグリングのパフォーマンスを行ってきたアーティストに使用してもらう。パフォーマンスの際、失敗し落ちて割れたものを金継ぎする。

それぞれのリングはコーリングによって接着することで安定性を得る。

モック



【AAC 2018】応募用紙B

作品名	まわる	作品NO.	58
素材	磁土、漆、金粉	想定重量	10 kg
作品タイプ	横幅 405 × 高さ 1200 × 奥行 405 (単位: mm)		

作品コンセプト

ジャグリングを使う道具を陶で制作し、実際にパフォーマーである作者がジャグリングのパフォーマンスを行う。ミスをすると、陶の道具は床に落ちて割れてしまう。その割れた道具を金継ぎで元の形に修復し、バランスのみで自立する形に構成したものを展示する。

ジャグリングは単なる曲芸ではなく、「ものとの新しい関わりを探すこと」だと作者は捉えている。その中において、道具のみを自立させる行為は関わりの「終わり」とも言える。だが、技の失敗による終わりではなく、明らかにその関係性に意味があったことを示す、意図された「終わり」である。失敗による終わりを修復し、意味のある終わりへと再構成する。1日の終わりに帰り、またそこから明日も出発する、エントランスという場所に前向きな意味を与えることを狙う。

陶に金継ぎという手仕事を感じさせる部分と、幾何学な图形とバランスは、引き締まりつつもどこか安心するような空間を演出する。

【過去の自分の作品】※画像や写真等を配置もしくは貼り付けてください

